

12月 世代間交流 もちつき会

定こども園のうみで、特色ある保育の一環である世代間交流として、園児が地域の方と、もちつき会を行いました。園児たちは興味津々の表情で、大人たちと協力してもち米をつき、香ばしいもち米がおもちに変わっていく様子は、こどもにとって新鮮な体験となり、大人もこどもの純真な笑顔から元気をもらいました。



重たい杵をサポートを受け、もちあげる園児

12月 江田島市と株式会社イズミ 地域活性化包括連携協定を締結

本市と株式会社イズミは、相互の連携を強化し、地域の活性化と市民サービスの向上に取り組むため、地域活性化包括連携協定を締結しました。12月21日(木)に、ゆめタウン江田島に新設された「えたじまブランド」コーナーにおいて締結調印式を行い、明岳市長は「江田島市がより良いまちとなるように、パートナーとして共に努力していきたい」とあいさつ。(株)イズミの溝口晋 取締役執行役員GMS本部長は「(株)イズミは、新入社員の合宿研修を江田島市で行っており、思い入れのある市。県内での江田島産品の販売もサポートしていきたい」と話しました。



▲協定書を手にする明岳市長(中央◎)と溝口本部長(中央◎)

今後は、ゆめタウン江田島を拠点に、市の情報発信や地域振興、防災など6分野で協力を強めていきます。

交通安全ポスター・作文コンクール広島県交通安全協会長賞を受賞

(公財) 広島県交通安全協会主催の交通安全ポスター・作文コンクールで市内小学校から2人の児童の作品が入賞しました。

- 作文の部 広島県交通安全協会長賞銀賞 瀬戸中 汐さん (中町小学校3年)
- ポスターの部 広島県交通安全協会長賞銅賞 山下 瑞生さん (大古小学校3年)



▲表彰状を掲げる瀬戸中 汐さん



▲表彰状を掲げる山下 瑞生さん

お詫びと訂正

令和6年広報えたじま 1月号14ページで紹介した小松さんの名前に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

- 【正】小松 庄治さん
- 【誤】小松 庄司さん

交通安全功労者に贈られる最高の栄誉 「緑十字金章」を受章

本市の交通安全協会会長の清水義昭さん(江田島町秋月)が、交通安全の功労者に贈られる最高の栄誉である「緑十字金章」を受章され、明岳市長に報告をしました。清水さんは、昭和50年に交通安全協会に入会され、49年の長きにわたり、交通安全運動期間中の街頭指導や保育園・小学校での交通安全教室など、地域の交通事故を減らす活動をしてこられました。また、平成28年から現在に至るまでの約8年間は会長を務められ、会員の先頭に立ち、交通安全の推進に尽力されました。長年にわたる多大な功績が認められ、この度の受章となりました。



▲受章された清水義昭さん

第73回“社会を明るくする運動”県推進委員会 作文・標語コンテスト 市内中学生が受賞

“社会を明るくする運動”作文・標語コンテストは、次世代を担う広島県の小中学生に、日常の家庭生活、学校生活の中で体験したことを基に、犯罪や非行などに関して考えたことや感じたことを作文にすることで、本運動

に関する理解を深めてもらうことを目的としています。第73回となる今回は、作文で市内中学生1人が次の賞に選ばれました。(敬称略)

- 広島県更生保護協会理事長賞 田口 はるか (江田島中1年)

12月 県防犯連合会主催防犯ポスター 作文で市内中学生が受賞

広島県防犯連合会では、中・高校生の感性と情操を養い、社会参加への意欲を啓発することによって、少年の健全育成および地域安全運動の普及・高揚に寄与することを目的に毎年防犯ポスター・作文の募集を行っています。令和5年度の募集では、市内の中

学生が作文(中国地方)・ポスター(広島県内)で賞に選ばれました。(敬称略)

- 中国地方防犯作文優秀賞 鷹谷 俊和 (江田島中2年)
- 広島県防犯ポスター入選 御堂岡 乃莉子 (能美中1年)

12月 “社会を明るくする運動” 横断幕を設置

江田島地区更生保護サポートセンター(能美市民センター内)前のフェンスに“社会を明るくする運動”啓発用横断幕を設置しました。

“社会を明るくする運動”とは、すべての国民が犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築こうとする全国的な運動です。



▲江田島地区保護司会・江田島地区更生保護女性会(江田島地区更生保護サポートセンター ☎0823-45-3955)